

ハゴロモの仲間

樹木の汁を吸う虫。5～6月頃に幼虫が活動。7月に成虫になる。



アオバハゴロモ

アオバハゴロモ科 体長 9～11mm

幼虫は体や周囲の枝に、大量の白い綿状物質（樹液から生成したロウ物質）を分泌し、その中に隠れている。幼虫も成虫も集団でいることが多く、手を近づけると枝の影に隠れ、危険を感じると跳ねて逃げる。



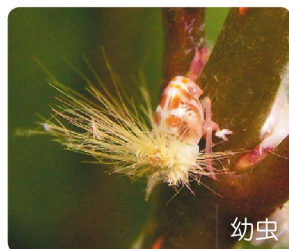
幼虫



ベッコウハゴロモ

ハゴロモ科 体長 9～11mm

幼虫の尾部にはロウ物質でつくった白い毛の束があり、これを傘を開くように広げ体を隠す。



幼虫



体を隠す幼虫



アミガサハゴロモ

ハゴロモ科 体長 10～13mm

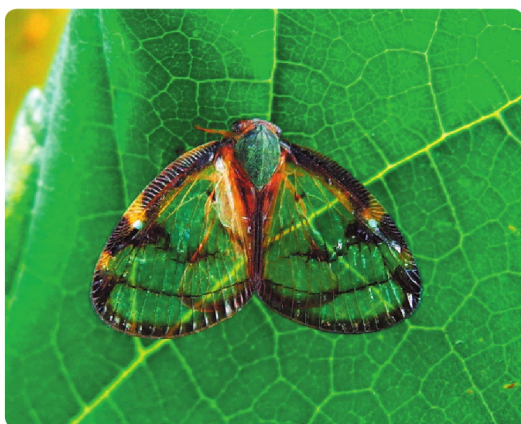
幼虫はベッコウハゴロモによく似る。羽化直後の成虫は全身に薄緑の粉をまとい、活動と共に落ちていき、暗褐色になる。



羽化直後の成虫



幼虫



スケバハゴロモ

ハゴロモ科 体長 9～10mm

ベッコウハゴロモ・アミガサハゴロモに似るが、成虫の翅は縁を除いて透明。